

平成23年度 建設技術審査証明事業（下水道技術）

—新規14技術，更新19技術，変更17技術，継続4技術—

平成23年度の第1回審査証明委員会が6月24日に本機構会議室で開かれ、今年度の建設技術審査証明事業（下水道技術）に申請のあった技術のうち、新規14技術について審査証明を行うことが決定しました。このほか、更新が19技術、変更が17技術あり、昨年度からの継続審議となっている2技術を合わせて52技術が今年度の審査証明事業で取り扱われることになりました。

平成23年度 建設技術審査証明 新規技術一覧表

No	技術の名称	依頼者
1	Two-Wayライニング工法	(株)環境施設
2	KanaSlip工法	カナフレックスコーポレーション(株)
3	大口径既設管耐震化工法	東京都下水道サービス(株)、日本ヒューム(株)、(株)コンセック、日本工営(株)
4	ドラフトチューブサーキュレータ〈DTC400〉	アタカ大機(株)
5	ハイノッチチェーン汚泥かき寄せ機	日立機材(株)
6	複翼式曝気攪拌機	メタウォーター(株)
7	FJボックスカルバート	(株)ホクエツ
8	(仮称) MMSボックスカルバート	鶴見コンクリート(株)
9	ファイン工法〈被膜鞘管工法〉(仮称)	東亜グラウト工業(株)、(株)イセキ開発工機、カジマ・リノベイト(株)、積水化学工業(株)
10	クリアフロー工法	(株)大阪防水建設社
11	P-取付けライニング工法	エフアールビーサポートサービス(株)、(株)オクムラ道路、大幸道路管理(株)、藤野興業(株)、東拓工業(株)
12	ARISライナー工法	岡三リビック(株)
13	リフォスマスター汚泥MAP型	水ing(株)
14	スミジェッター（低動力型ジェットポンプ式揚砂機）	住友重機械エンバイロメント(株)